

# カテゴリ管理が必要な業務シーン

ワンタッチ管理システム ― 補足資料

2026年2月13日

## シーン1

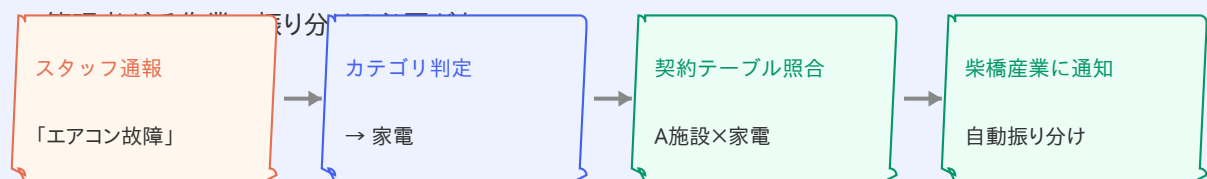
### トラブル通報 → 正しい外注先に自動振り分け

A施設のスタッフが「エアコンが動かない」と通報した。

エアコンのカテゴリは「家電」。

A施設で「家電」を担当している外注先は → 柴橋産業。

→ カテゴリ管理があれば、通報が自動的に柴橋産業に届く。



☒ 今: 管理者が通報を見て、手動で外注先を選んで連絡している

☒ 将来: カテゴリで自動判定 → 外注先に即時通知

## シーン2

### 施設ごとに外注先を使い分ける

A施設の水道は「関東水道サービス」に頼んでいるが、

B施設の水道は地元の「山田設備」に頼みたい。

→ 同じ「水道」カテゴリでも、施設ごとに外注先を変えられる。

契約テーブルがないと、全施設で同じ外注先になってしまう。

| 施設  | カテゴリ | 外注先      |
|-----|------|----------|
| A施設 | 水道   | 関東水道サービス |
| B施設 | 水道   | 山田設備     |
| A施設 | 家電   | 柴橋産業     |
| B施設 | 家電   | 柴橋産業     |

### シーン3

## 契約期限が切れた / 外注先を変更したい

A施設の「関東水道サービス」との契約が3月で終了する。  
4月からは「山田設備」に水道を任せたい。

→ 契約テーブルで期間を管理していれば：

- ・ 期限切れ前にアラートが出る
- ・ 新しい契約を登録するだけで、通報先が自動で切り替わる
- ・ 過去の契約履歴も残るので、引き継ぎがスムーズ

### シーン4

## 外注先の対応実績をカテゴリ別に評価

「柴橋産業は家電の対応は早いけど、  
水道の対応は遅いから別の業者に変えよう」

→ カテゴリ別の実績データがあれば：

- ・ 外注先ごと×カテゴリごとの対応件数・平均対応時間が見える
- ・ 契約更新の判断材料になる
- ・ 「得意分野に集中してもらおう」という適材適所の配置ができる

## まとめ：カテゴリ管理で何が変わるか

### 通報の振り分け

手動 → カテゴリで自動判定

### 外注先の使い分け

全施設共通 → 施設×カテゴリで個別設定

### 契約管理

把握できない → 期限アラート+自動切替

### 実績評価

感覚的 → カテゴリ別データで判断